



ウエス

うえす



布製ウエス（メリヤスウエス）



紙製ウエス（リソワイプス）

概要

ウエスは絵画や版画の制作において、道具の清掃や製版の作業などで用いられるボロ布のことです。

ウエスの多くは、古着や古布などを再利用したもので、用途や使用目的により様々な生地のものであり、水分や油分の吸収性が高く、破れにくいものが良いとされています。主な生地の種類として、布製のものとして、白いTシャツや肌着などをクリーニング処理した、比較的柔らかいメリヤスウエスと呼ばれるものと、リネンシーツやテーブルクロスをクリーニング処理した比較的硬い感触の綿白ウエスと呼ばれるものがあります。この他にもタオル生地のものや麻素材のものなども使用されています。これら布製ものは、用途にもよりますが使用した後に洗って繰り返し使うことが可能です。紙製ものは、紙ウエスと呼ばれ工業用に多く使用されています。繰り返し使用できない使い切りのものが一般的です。

版画でウエスを使用する場合には、メリヤス地のもので良いとされています。これは製版時に使用する際など、版に直接触れて使用することがあるために、版面に傷がつかぬよう柔らかい生地が好まれるためです。また、綿白ウエスに比べ、水分や溶剤などの吸収率が良いのも要因の一つです。さらに、リトグラフで使用するリソワイプス（紙製）と呼ばれるウエスや、銅版画の印刷の際にインクの拭きとり仕上げをするために使用するウエスなども市販されています。

ウエスはホームセンターや画材店などで購入することが可能です。通常ウエスは枚数ではなく1kgなどの重量単位の束で販売されています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

Z

数字

リトグラフ制作における使用例

使用例 1 平版用ラッカーを塗布する



第二次製版では、平版用ラッカーを版面に垂らし、水分の含んでいないウエスで薄く均一にすばやく塗りのばしていきます。

使用例 3 版面に塗布した製版液を乾拭きする



第一次製版や第二次製版で、製版液を版面に塗布した後は、水分の含んでいないウエスを用いて版面を乾拭きします。

使用例 2 チンクターを塗布する



第二次製版では、チンクターを版面に垂らし、水分の含んでいないウエスで薄く均一に塗りのばしていきます。